

## 第6回新居浜市長期総合計画策定市民会議『行財政運営部会』記録

1. 日 時 平成22年4月28日(水)  
午後6時～午後7時12分
2. 場 所 本庁3階応接会議室
3. 出席者(敬称略)
  - 委員 ○部会長 星加 勝一 ○副部会長 近藤 智佳  
○伊藤バーバラ ○土井美智子 ○村上 榮  
○尾藤 一彦○矢野 玲子 ○米谷 和之  
(欠席) ○伊藤 直人 ○吉田真由美
  - 事務局 ○専門部会長(市民部長) 工藤 順  
○専門部会副部会長(議会事務局長) 堀田 高正  
○専門部会副部会長(議会事務局長) 藤田 恭一  
○専門部会副部会長(監査委員事務局長) 伊藤 忠親  
○専門部会副部会長(選挙管理委員会事務局長) 岡 正士  
○専門部会班長(企画部総括次長兼秘書広報課長) 寺村 伸治  
○推進員(税務長兼収税課長) 伊東明満  
○推進員(情報政策課主幹) 石川正人  
○推進員(人事課長) 寺田 政則  
○推進員(市民部総括次長兼市民課長) 神野直喜  
○推進員(市民活動推進課長) 岡部嘉幸  
○推進員(男女共同参画課長) 白石尚志  
○まちづくり担当(総合政策課係長) 加地和弘  
○まちづくり担当(総合政策課主任) 白田 和子
4. 傍聴者(敬称略) な し
5. 議 事 (1) 基本計画素案について(意見交換)  
(2) 次回(第7回)の部会開催日程について
6. 配布資料 (1) 基本計画素案(指標等訂正後)  
(2) 第五次新居浜市長期総合計画の成果指標について  
(3) 新居浜市長期総合計画策定委員会専門部会名簿(行財政運営専門部会)

### 7. 概 要

午後6時開会

#### **(1) 基本計画素案について(意見交換)**

○星加部会長 ただ今から第6回市民会議「行財政運営部会」を開会する。

本日の議題であるが、第5回市民会議で説明のあった基本計画素案に対す

る意見交換である。

まず、本日のテーマなどについて、専門部会長から説明をお願いする。

- 工藤専門部会長 4月22日に開催した第5回市民会議では基本計画の素案について説明させていただいた。

今日は、基本計画素案に対するご意見をお願いしたい。

ご意見をいただく前に、前回ご質問のあった「外国人登録者の住基カード対応」について説明をさせていただいた後、多数ご意見をいただいた活動指標、成果指標についての考え方についてご説明をさせていただきたい。その後で、各担当からそれぞれ指標について見直した箇所について説明をし、基本計画素案についてご意見を頂きたいと思う。

- 星加部会長 それでは、「外国人登録者の住基カード対応について」活動指標成果指標の考え方の説明の後、各担当者から指標の説明をお願いする。

「外国人登録者の住基カード対応について」《神野総括次長説明》

現在、外国人に対しては住民基本台帳カードは交付できないが、平成21年7月15日に「住民基本台帳法改正法」及び「入管法等改正法」が公布され3年以内に施行される予定。これにより外国人に対しても住民基本台帳カードが交付されることとなっている。詳細は未定である。

活動指標、成果指標の考え方《寺村企画部総括次長兼秘書広報課長説明》

活動指標とは行政が何に取り組むか。行政がコントロールできる範囲のもの  
成果指標とは何を目指して取り組むか。外部要因が影響する範囲（満足度など）この視点で今日は協議してほしい。

以下基本計画素案については変更点のみを説明

「男女共同参画社会の形成」《白石男女共同参画課長説明》

成果指標を講習会等参加者数をDV被害者相談件数に改めた。

「地域コミュニティの充実」《岡部市民活動推進課長説明》

成果指標にコミュニティ活動に対する市民満足度を追加した。

「多様な主体による協働の推進」《岡部市民活動推進課長説明》

活動指標 出前講座メニュー数を公共施設愛護活動登録件数に改めた。

成果指標に協働による事業提案数を追加した。

成果指標に公共施設愛護活動参加者数を追加した。

出前講座開催数をNPOやボランティア活動に対する満足度に改めた。

「国際化の推進」《岡部市民活動推進課長説明》

成果指標 国際関係講座・イベント参加者数を国際交流に対する市民満足度に改めた。

「開かれた市政の推進」《寺村企画部総括次長兼秘書広報課長説明》、

成果指標 手紙・メール等による市民の声の提出件数 を 市民に対する情報提供や情報公開に対する市民満足度に改めた。

「効果・効率的な自治体経営の推進」《寺村企画部総括次長兼秘書広報課長説明》

成果指標 新行政改革大綱実施計画の達成率を行財政運営に対する市民満足度に改めた。

成果指標 実質公債費比率を市債残高『市民1人あたり』に改めた。

「情報通信技術（ICT）の利活用と市民サービスの向上」《石川情報政策課主幹説明》

成果指標 行政サービスに対する市民満足度

- 星加部会長 それでは、質疑に入ります。何かご質問、ご意見等はないか。
- 尾藤委員 市民満足度の目標値が項目によってまちまちだが、考え方はどうなっているのか。統計的なものに基づいているのか。
- 寺村班長 統計的な裏づけがあって満足度の数値を決めているものではない。これまで行った平成10年度の市民意向調査と平成20年度の市民意向調査の数字やこの10年間の取り組みや今後の見込みを総合的に勘案して数字を出している。
- 尾藤委員 現在値15%が20%の目標とか、現在値10%が20%の目標というのがそのくらいしか上がらないものは、満足度のレベルとしていいのかよくわからない。項目によって満足度が違っているのがよくわからない。
- 寺村班長 項目によって、満足度が非常に低いものがある。これまでの実績を参考にして設定している。
- 尾藤委員 満足度が低いことで議論しても無駄のような気がするので、注意してほしい。
- 星加部会長 この満足度はアンケートか何かで調査したのか。
- 寺村班長 市民意向調査を市民3千人を対象に平成20年度に実施した。

- 土井委員　ここで意見を言えば内容を見直してくれるのか？
- 工藤専門部会長　皆さんの意見がそろえば訂正する。
- 土井委員　国際化の推進のところの日本語教師の件であるが日本語教師はツールであって日本語教師が増えれば国際化が進むとは思えない。取り組み方針で処遇環境を整備したからといって日本語教師が増えるわけではないのでこういう書き方は困るのでいい表現にかえてほしい。  
次に、活動指標でボランティア日本語教師養成講座受講者数はここに書くものなのか？これが少ないからといって国際化に影響するものではない。  
次に、成果指標のボランティア日本語教師数の22人の数字はいつのものか？ボランティア日本語教師数の目標値35人の根拠を説明してほしい。
- 岡部推進員　活動指標のボランティア日本語教師養成講座受講者数は周知啓発をして受講者を増やすため市として努力した部分を活動指標とした。成果指標日本語教師数22人は平成20年度の数字である。35人は増やしていきたいということから設定した数字である。  
教師の処遇改善については、市としては処遇を改善したいとの思いからこういった表現にしたが、表現方法が悪いのであれば見直したい。
- 星加部会長　この件は詳細がわからないので行政と土井委員さんが協議して訂正してください。
- 伊藤バーバラ　新居浜には国際交流員がいない。10年前にも同じ事をいったが、なんら変わっていない。市役所に外国人の味方がいてほしい。私達外国人のことを理解してくれる人がほしい。海外に長い間生活した人がいれば理解してくれると思う。国際交流のイベントにならない。外国人のためにならない交流会である。  
国際交流の窓口はどこか？
- 岡部推進員　市民活動推進課が担当課である。
- 伊藤バーバラ　いつも担当者が変わる。
- 星加部会長　国際交流委員の過去の経過等も調べてほしい。
- 伊藤バーバラ　この計画になれば、国際交流員は10年間取り組まないのか？
- 工藤専門部会長　国際交流員を専門的に雇うかどうかは難しいが、計画に乗らなかったからといってやらないわけではない。細かな点まで基本計画素案に載せるわけではない。
- 伊藤バーバラ　市民意向調査の対象のうち外国人は何人か
- 岡部推進員　市民意向調査で外国人が何人回答したのかという集計は行っていないと思うので、人数はわかりません。
- 伊藤バーバラ　住民票から選ぶと外国人は入っていない。外国人の市民もい

ることを理解してほしい。

- 伊藤副部長 バーバラさんのご意見は国際交流計画の中でどういう施策をやっていくかを議論する場があるのでそういう中で今いった意見をだしてほしい。
- 米谷委員 地域コミュニティの充実のなかの現況と課題でまちづくり活動がマンネリ傾向にありという表現は訂正してほしい。
- 星加部会長 自治会加入率を75%というのは重く感じるがどうか？
- 工藤専門部長 あえて少し高いハードルとして自治会加入率75%としている。
- 近藤副部長 先ほどの満足度などの話では実現可能な数字をあげていると聞いたがこの数字は理想的な数字なのか。
- 工藤専門部長 マンションなどは自治会とはなっていないが、マンションをひとつの自治会と考えれば、75%も可能性のある数字と考えることができる。
- 近藤副部長 男女共同参画社会の形成のワークライフバランスについて啓発することなど行政として支援する言葉を入れればいいのではないか。
- 白石推進員 具体的には基本計画になくてもその下の施策の中で取り組んでいくことができる。
- 星加部会長 これまでの意見を反映させて基本計画素案について見直しを行ってほしい。  
他に意見も無いようなので、基本計画素案に対する意見交換を終わる。

## **(2) 次回(第7回)の部会開催日程について**

最後に次回の開催日程について、事務局からお願いしたい。

- 工藤専門部長 次回は、7月に中間案の報告のため第2回市民会議全体会の開催を予定している。委員の皆様には、改めてご案内をする。  
本日までに検討していただいた計画案を、5月に開催予定の第3回長期総合計画審議会に報告する。その際、他の部会の計画案との形式的な整合性を図るため、語尾や漢字とひらがなの表現について変更する必要がある。また、指標の数値につきましても、現況値に新たなデータが得られた場合など変更する必要があると考えられるので星加部会長さんと事務局にお任せいただきたい。
- 星加部会長  
これをもって本日の会を終了する。  
午後7時12分終了 閉会